

Rotary International District2780

GOVERNOR'S

Monthly Letter

奉仕しよう
みんなの人生を
豊かにするために



SERVE TO CHANGE LIVES

2021

8月号

Vol.2

2021-2022

ガバナー月信



EACH ONE BRING ONE

Shigeo Tokiwa
G6 AG

Tomishige Oya
G7 AG

Kazuaki Mukunashi
G3 AG

Toru Tajima G

Etsuko Mozumi
G5B AG

Takaya Kimura
G9 AG

Yasunori Naemura
G5A AG

Riwako Kitamura
G1 AG

Takashi Ishida
G2 AG

Kyoko Misawa
G4 AG

Yuko Toriyama
G8 AG

Rotary



国際ロータリー 第2780地区 2021-2022年度ガバナー 田島 透

Rotary International District2780 2021-2022 Governor Toru Tajima



クラブ会長・幹事の皆様、 そしてクラブ会員の皆様へ



国際ロータリー第2780地区
2021～22年度ガバナー

田島 透

絆は「例会」

私たちの生活圏である首都圏では東京都で4度目の「緊急事態宣言」、神奈川県には「まん延防止等重点措置」が再び延長されました。そして、従来よりも感染力が強いデルタ株の感染者の割合が徐々に増加しており一層の警戒が必要です。ワクチン接種がさらに進み、これ以上の感染拡大を抑え込むことを期待せざるを得ません。

私たちは1年半にわたる新型コロナウイルスとの対峙で感染予防の重要性を認識しました。そしてこれに対応した新しい生活様式も取り入れ実践してきました。

ロータリー活動においては、一人ひとりが生活のあらゆる場面で、「適切なマスクの着用」・「アルコール消毒」・「不必要な接触はできる限りしない」・「距離と換気」の基本的な感染防止対策を徹底してきました。これからも今まで以上に徹底した感染予防を行ってロータリーを実践していこうと考えています。

新型コロナウイルス感染症の流行により影響を受けている事業者は多く、地元経済に深刻な影響をもたらしています。クラブの基盤は地域社会です。地域に目をやれば、コロナ禍で疲弊した飲食や観光産業などそれを支える流通・サービス業、また極度の緊張状態にある医療・介護などの

エッセンシャルワーカーの存在があります。この方々に我々ロータリアンは地域の一員として、「1クラブ1奉仕事業」でこれら産業や職種に元気を提供できる奉仕活動の実現を模索していこうではありませんか。

良いことをすると自分の人生も豊かになる

シェカール・メータRI会長は「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために」を掲げています。他人に奉仕することは自分の人生も豊かにする、と話され「超我の奉仕」を強調されています。人助けをすること、他人のために何かをすることは、脳の報酬系が活性化し、コルチゾールが放出されることでストレス度が低下するという研究結果が数多く報告されています。とりわけロータリアンは、人を思いやりたいというニーズが大きく、感謝されることで、セロトニンやドーパミンといった神経伝達物質の放出が促進され、喜びや幸せを感じやすくなります。

新型コロナウイルスの影響で不安な生活を強いられている昨今、私たちは地域社会のリーダーとして意識的に感謝や親切を示すことの大切さを伝えることが重要だと思います。そうすることで、人びとの心を和ませることができるのではないのでしょうか。そして私たちは、クラブ全体や地域社会の雰

CONTENTS

ガバナーメッセージ	2
月間テーマについて	4
セミナー開催のお知らせ	5
委員長抱負	6
INFORMATION	14

クラブ紹介 第1グループ	15
クラブ紹介 第2グループ	17
コーディネーターNEWS	20
地区会員増強維持拡大委員会からのお知らせ	22
新会員紹介/国内役員・委員のお知らせ	23

困気をポジティブにすることができると思います。この雰囲気をつくり、人に優しくなれる方法を探っていきましょう。

ハイブリッド例会をご検討ください

新型コロナウイルスのワクチン接種は進みつつありますが、緊急事態・まん延防止等まだしばらくその影響があります。しかし大切なのは「例会」の存在です。「奉仕の理念」は「思いやりの心」であり、それを学べるのが「例会場」です。人が楽しく集まる輝く例会にしましょう。例会に出席する事で会員同士が関わり合って奉仕の理念を学び、その理念の実践の場である例会を「楽しく、魅力ある例会」とすることが大切です。

ロータリーは人と人とのつながりを礎としています。しかし、新型コロナウイルスの影響で例会や行事ができない、親睦や奉仕の活動ができないクラブも多いでしょう。新型コロナウイルスでテレワー

ク(在宅勤務)をする人が多くなりオンライン会議ツールが普及しました。私たちはこの一年半にハイブリッド例会の開催方法を習得しました。これにより休会とせずにオンラインで例会を開催できます。徹底した感染対策を講じて可能な限り対面での開催を検討してください。しかし対面が叶わない時はハイブリッドでの開催をご検討ください。Eクラブでなくてもオンラインツールを利用して例会を開いたり、仲間との会話を楽しんだり、奉仕活動のアイデアを話し合ったりすることができます。「楽しい例会」は会員同士の絆を強くし会員維持につながります。また「EACH ONE BRING ONE」で一人でも多くの仲間を作り、お互いに刺激を受けあい、奉仕の喜びを共感しましょう。それがロータリーの大きな楽しみの一つと思っています。

地区戦略計画

私たちは、地域社会のニーズをとらえ、地域社会にインパクトをもたらし、多様な人々との出会いとつながりを活かして、良い奉仕を実践するために積極的に行動します。

(2019年10月18日地区大会決議)

優先事項と行動目標

① 地域社会の変化とニーズを的確に捉える

(行動目標)

- 地域諸団体との連携
- クラブの行動に繋がる地域社会の課題、情報を捉える
- 地域社会との情報の受発信
- 時代の変化に適應する組織の醸成

② 地域社会にインパクトをもたらす

(行動目標)

- ポリオ根絶に向けた横断的な活動の推進
- 地域社会に向けた開放的行動の推進
- 地域活動の理解推進
- プロジェクト推進のためのクラブ活動状況の情報共有化

③ 多様な人々との出会いとつながり

(行動目標)

- ローターアクトクラブ及びインターアクトクラブの拡大など、若い人々への積極的支援
- 地域で活動するより多くの人たちとのネットワークを築く
- 将来のリーダーの発掘、育成及びリーダーシップの継続
- 年齢、キャリアを問わないプロジェクトの推進

④ 積極的に行動します

(行動目標)

- ロータリー財団への協力と補助金事例の発信
- クラブの積極的行動への促進と支援
- クラブ、グループ、委員会、ガバナー補佐の情報共有化
- 安全、安心、環境保護を意識した行動

RIビジョン声明、行動計画、行動目標を実現するため、地域の特性を踏まえ、地区レベルでのビジョンと行動目標を策定いたしました。地区ビジョンの4つのエレメント(構成要素)

Together (多様な人々と共に) Connect (つながる)

Take Action (積極的な行動) Wonderful Encounter (素晴らしい出会い)

を基本として策定しています。

行動計画は将来への方向性を示しています。クラブや地区の独自の目標について考え、目標を行動計画に結び付ける方法を模索することが推奨されています。その結果を基に独自の戦略を立て、実践、行動しましょう。地区ビジョン及び行動目標は、2024年RI戦略計画の見直しまで継続されます。



Each One Bring One for GROW MORE!!!!



2021~22年度
地区会員増強維持拡大委員会
委員長 岩澤 あゆみ
(茅ヶ崎RC)

2020年4月の緊急事態宣言以降、私たちの生活は新型コロナウイルスの感染拡大を前提としたスタイルに変化をしました。多くのクラブでロータリー活動に制約がかかり、例会や奉仕事業、IMなどの機会が中止、新会員の認証や会員同士の親睦も出来ないなど、クラブの課題や悩みがこれまで以上に多様化しました。一方で、できる奉仕をとコロナ感染拡大防止に関する奉仕事業を行ったり、例会もデジタルを活用して開催、各種セミナーや大会のオンラインでの実施というチャレンジもあり、より柔軟に変化を起こすということも我々は経験をしました。

変化があったこと。そんな時こそ、成長の時です。クラブの未来を作るのは「人」です。仲間を維持し、そして増やしていくために何をすべきか。正解は一つではありません。クラブそれぞれに適切な方法や、あり方があると思います。まずはクラブの棚卸をしてみましょう。各会員の状況は？クラブの運営で見直すべきことは？必要な変化は何か。継承すべきことは何か。クラブで増強維持に関する目標を持ち、自クラブの5年後、10年後の未来をクラブ全体で描きましょう。

クラブの運営面では、今いる会員、そして入会候補者にとって何が良いか。具体的に色々なことをクラブ協議会などで話をするのもいいかもしれません。例えば、

- ・例会の開催時間は？
- ・開催方法は？(これからもハイブリッドにしたら、出張中でも例会に出られる会員がいるかもしれない)
- ・会費は？(昼食を月4回の例会の半分だけにして、食事代を削減するだけでも年会費を少しでも下げることが出来るのでは？)
- ・デジタル化が進んでも変わらない奉仕と親睦のやり方とは？

会員の維持・増強のために出来ることとしては、

- ・充実した奉仕活動や親睦活動

- ・豊かな人間関係や研修の充実
- ・入会候補者のリスト作りや共有。増強する意識醸成
- ・充実した広報(ロータリーの認知度は20%程度という調査データもあります。隠匿の美と言われてきたロータリーの奉仕活動ですが、奉仕をしていくためにも仲間を増やす必要があります。ロータリーを知っていただくこと。奉仕を通じて知っていただくことは素晴らしい仲間を増やすことにつながります。)

日本のロータリーの会員数も年々減少し、世界全体でもここ20年ずっと120万人と言われていています。当地区もこの10年の中では、2017年度に2,396名をピークに減少傾向です。しかしながら女性会員の比率は増加の一途で、全国で見ても高い比率。神奈川県選挙区人口1万人当たりの会員比率は7名。ほぼ全国並み。しかしながら当地区内でもこの会員比率が4名程度の地域もあり、このあたりに会員増強の可能性やヒントがあるかもしれません。今年はこの2,396名を一つの目標にしています。RIのメータ会長は「Each One Bring One ひとりかひとりを入れよう」と掲げ、そして田島ガバナーは第2780地区のテーマを「DO MORE END POLIO」「GROW MORE MEMBERSHIP」としました。

ロータリーの発展はクラブの発展があつてこそです。会員全員が当事者意識をもって、奉仕を通じて会員基盤を強固なものにしていきましょう。地区の委員会としても全面的にクラブをバックアップしていければと思います。本年は、新会員を入れてくださったスポンサーの方に、「GROW MORE!」というオリジナルの缶バッジを作り、田島ガバナーのメッセージ入りのカードと共にお贈りする予定です。また、新会員のお声を動画など通じて皆さんにお届けをしていきます。地区はクラブのためにある。このことを軸に、一つひとつのクラブに寄り添い活動していきたいと思っています。年間を通じて卓話の実施、データや情報の共有、ご要望があれば何でもご連絡ください。

クラブフューチャービジョン セミナー開催

2021～22年度
地区クラブ管理運営委員会
委員長 **大隈 秀仁**
(相模原ニューシティRC)



ロータリークラブは奉仕をする人の集まりですが、事業年度が単年度制ですので、継続的事業が比較的少なく、長期的な目標・成果が目に見えにくいとされている方が少なくないのではないのでしょうか。

**“皆様のクラブにはクラブビジョンや
中長期的行動計画はありますか？”**

国際ロータリーはRIのビジョン声明、行動計画、行動目標を実現するために、クラブの特性を踏まえ、クラブレベルでのビジョンと行動目標に結びつける方法を模索することを奨励しています。そのため、クラブでは行動計画の優先事項や目標について話し合い、その話し合いの結果を基に独自の戦略を立て、魅力あるクラブ運営のあり方を検討することが望まれます。

そこで、理想的な未来の姿から逆算し、現在取り組むべき施策を考える思考法(バックキャストिंग)を使って、クラブビジョン及び行動計画立案の参考となる「クラブフューチャービジョンセミナー」を開催いたします。

講師としてお迎えする小針憲一氏は様々な会議手法を学ばれており、特に自治体で取り組まれている市民討議会を普及させるべくご活躍された方であり、現在、市民討議会は様々な自治体で取り組まれております。市民討

議会はバックキャストिंग手法に似た形で討議し、政策の指標を導き出すもので、住民基本台帳を基に無作為に市民に呼びかけ、参加者を5人程度に分けて討議を行います。討議の前に情報提供を行ってから討議を行いますので、予備知識が無くても参加できる手法であり、多様性のある市民に自由に発言していただき、その意見を取り纏め、その場で合意形成を行うことができます。新しい住民参画の手法として注目をされているものです。

そこで、この度のクラブフューチャービジョンセミナーでは、この市民討議会の手法を基に、セミナーに参加していただいたクラブの皆様には、これから10年後の未来予想を踏まえて自由な夢を描いていただき、これからのロータリークラブは何をしなくてはならないかをバックキャストिंग手法を使って、何をしたいか、何ができるかを中心に討議していただきます。結論は抽象的でThink global的なものからはじまって、日本では、そして各地域ではと言う順に的を絞り、最終的に各クラブの行動計画立案の参考となるビジョン・ミッションに落とし込めるような体験をしていただきます。

是非、クラブフューチャービジョンセミナーにご参加いただき『魅力ある元気なクラブづくり』の参考にさせていただければ幸いです。

クラブフューチャービジョンセミナー

開催日時：2021年8月21日(土)
13時00分～17時30分
開催場所：相澤ビル3階、5階、6階、8階
講師：アックインテリジェンス(株)
代表取締役 小針憲一氏





委員長抱負

地区戦略計画委員会

委員長 相澤 光春 (ふじさわ湘南 RC)

『地区ビジョンの実現』

本年度委員会は、地区ビジョン、優先事項・行動目標を各クラブ、会員の皆様にご理解賜りますよう活動させていただきます。

国際ロータリーのビジョンならびに優先事項・行動目標を実現するため、地区の特性を踏まえ、次の4つのエレメントを基本に策定いたしました。
 ・Together(多様な人々と共に)・Connect(つながる)
 ・Take Action (積極的な行動)・Wonderful Encounter(素晴らしい出会い)

地域社会の課題を捉え、インパクトをもたらす積極的な行動は、多様な人々との出会いを導き、その出会いは素晴らしい人々との出会いと感動をもたらします。そして感動は自分自身の中に刺激・感化を受け、喜びを見出し、悦びへと変わっていき、私たちは多様性・公平さ・インクルージョンを尊重し、積極的行動(奉仕)、リーダーシップと職業のスキルを生かし、地域社会の課題に果敢に取り組んでいく事が求められていると存じます。私たちは歴史から培われた5つの価値観の多様性を収束しながら前向きに地域社会の変化に適応した実践活動を推進する必要に迫られていると思います。地域社会での変化は私たちが決して会うことのない人や最愛の人を含めすべての人に影響していくでしょう。



地区危機管理委員会

委員長 宮本 清志 (横須賀南西 RC)

『危機管理 意識の向上』

地区危機管理委員会は2780地区において実施する全ての青少年育成プログラムに参加する全ての青少年の適用範囲が青少年交換学生、インターアクト、ローターアクト、ライラ、財団奨学生、米山奨学生、ROTEX、インターアクト学友、ライラリアン、財団学友会、米山学友会の安全と健康及び健全な生活を守るため、特に自然災害、交通災害その他の事故、及び身体的、性的、精神的虐待あるいはハラスメントから保護することに努めるとともに、危機が発生した場合の適切な対応をする目的があります。今年度からは、青少年に関するハラスメントの規定を拡大してロータリアン全員に適用されることになりました。

地区危機管理規定の変更を含め検討課題に対処していきたいと思っております。9月4日アイクロス湘南において、危機管理セミナーを実施いたします。講師には黒田勝元氏(D2760 高浜RC)に講師をお願いしておりますので、各クラブ会長にはぜひ出席していただきたいと思っております。当日は、ZOOMでも配信いたします。

これを契機に、各ロータリアンの危機意識を高めていただければ幸いです。



地区研修委員会

委員長 杉岡 芳樹 (相模原 RC)

『クラブ活性化に向けた研修を』

地区研修委員会は、クラブと地区の次年度リーダーの研修でガバナーエレクトを支援し、ロータリアンへの継続教育においてガバナーを支援します。具体的には、次年度関連の研修を企画・管理をすることとなります。加えて、ガバナーを支援するために、今年度のいくつかの研修行事を企画・実施または助言をしていきます。

今年度、田島ガバナーは今までにない研修、セミナーを企画されています。いずれも、クラブの活性化、会員増強を目的として、開催をされるもので、地区チーム一体となって、クラブのサポートをしていきたいと考えます。

次年度関連の、地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー(PETS)、地区研修・協議会は、この2年間、ほぼオンラインでの開催となりました。今年度は対面での開催ができることを前提に企画、実施を目指します。

また、次年度ガバナー補佐研修を10月より9回の開催をする予定です。

一年間よろしくお願いたします。



姉妹地区委員会

委員長 佐野 英之 (秦野 RC)

『姉妹地区委員会に向けて』

世界各国で猛威を振るい一向に収まらないコロナ禍の下で、間もなくオリンピックが華々しく開催されますが、その様な期待と不安の中、私達委員会一同新たな気持ちを抱き、本年度委員会の目標に向かって全員一丸と成って頑張る所存ですので皆様方の絶大なる御協力を宜しくお願致します。又、第3662地区との姉妹関係も新たな段階へと進むと思われれます。

さて、RIが推奨する国際奉仕の目的に記載されております様に「他国の人々とその文化・習慣・功績・願い・国際意識を培い、国際理解・親善・平和を推進する為に会員が行う行動から成り立つ」の主旨の下に、当委員会としては、本年度から両地区の女性会員同士の新たな友情の「絆」を築きつつ、当3662地区の女性会員の増強方法を少しでも研究しつつ、女性会員の増強に少しでも繋げて行ければと思っております。又、Zoom等を利用したり色々な方法を利用しながら更なる理解を深めて参りたいと思っております。

最後に、本年度、第3662地区に於いては来年、3月には第2780地区5月に第3662地区大会が開催するとの事です。是非皆様、相互の地区大会には一人でも多くの皆さんの参加を望んでおります。

以上本年度の活動に対して皆様の御協力をお願い申し上げます。



地区ホームページ委員会

委員長 小野 良太郎 (秦野中 RC)

『行動喚起を促せるホームページを』

本年度田島ガバナーは「地区ビジョンの実現を目指す」と「ポリオ根絶と会員増強」を実践することを地区方針に掲げられました。そしてRI会長シェカール・メータ会長は「奉仕しよう、みんなの人生を豊かにするために」をテーマに掲げられています。



昨年度ホームページの見直しを議論し、委員会で切り替えを決定しました。今年度より新しいホームページとなります。前年度までも素晴らしいホームページでしたが、これをさらに地区内クラブ、会員のためになるよう一年間委員会で議論を重ねて参りたいと思っております。他地区はもちろん多様なホームページを研究し、田島ガバナーの地区方針実践のサポートと、人生を豊かにするための行動喚起を促せるようなホームページとなればと思います。他の地区委員会等関係するメンバーからも、ご意見を伺いながら活動してまいります。一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

地区クラブ管理運営委員会

委員長 大隈 秀仁 (相模原ニューシティ RC)

『クラブに寄り添って』

今年度地区クラブ管理運営委員会委員長を拝命しました相模原ニューシティロータリークラブの大隈と申します。1年間よろしくお願いたします。



ロータリーは今、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、あらゆる活動に支障が生じている状況であり、今だからこそ、時代の変化(WITHコロナ)に適応する組織を醸成しなければならない時ではないでしょうか。そこで、当委員会では、「地区はクラブのためにある!」をコンセプトに掲げ、クラブに寄り添う姿勢を大切にし、各クラブが抱える悩みや疑問に対して共に考え解決していく事で、元気なクラブづくりの一助を担って参ります。また、当委員会はクラブ支援推進委員会、規定審議会担当委員会、デジタル化推進委員会と合同でクラブの支援に取り組んで参りますので、クラブ運営においてお悩みやご質問等がございましたら遠慮なく当委員会をご活用ください。

ロータリーの友 地区代表委員

辻 彰彦 (大和中 RC)

『友の素晴らしさを共有しよう』

日本におけるロータリーの機関誌『ロータリーの友』は、国際ロータリーの認可を受け、発行されているロータリーの地域雑誌です。ロータリアンがロータリーライフを深めるためにも、またクラブがRIと直結していると実感するためにも必要な媒体です。



Magazineには倉庫という意味があり、毎月お手元に届く「友」は、最も効率よくロータリー情報を得ることができ、多くの会員の意見や経験を見たり読んだりすることができる、ロータリアン共有の倉庫です。そこから、何を取り出し、何を学び、何を感じ取っていただけるのかは、ロータリアン一人一人に託されているのです。

「友」の中にある、「友愛の広場」、「アットワーク」では同志の考え方や生き方を学び、「声」のページには同志の感想があります。「私の一冊」には、人生の糧となる書籍の紹介などロータリアンのバイブルといっても過言ではありません。

ロータリーの友地区代表委員は、全国34地区より1名ずつが、各地区ガバナーの「友」に関する代表者としての任務を受け活動しております。

すでにご存じのことと思いますが、「友」の素晴らしさをさらに理解して頂きますよう、取り組んで参りたいと存じます。

クラブ支援推進委員会

委員長 杉崎 信一 (相模原南 RC)

『地区はクラブのためにある!』

今年度、地区クラブ管理運営委員会の小委員会であるクラブ支援推進委員会の委員長を仰せつかりました第5Bグループ相模原南ロータリークラブの杉崎信一と申します。一年間どうぞよろしくお願いいたします。



昨年度より新型コロナウイルスによる生活様式、仕事・ロータリー活動など様々な状況の変化がありこれからもまだまだ続く事と思えます。その中、昨年度クラブ管理運営委員会で行った活動のPRやサポート強化を行い、直近ではクラブフューチャービジョンセミナー開催など、今年度は「地区はクラブのためにある!」を掲げ「地区ビジョンの実現」を目指して委員会一丸となり活動して参ります。一年間どうぞよろしくお願いいたします。



委員長抱負

規定審議会担当委員会

委員長 鈴木 高広 (相模原ニューシティ RC)

『地区はクラブのためにある』

この度、規定審議会担当委員会の委員長職を拝命いたしました、第5Aグループ相模原ニューシティロータリークラブの鈴木高広と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。



世界中で多くの国が持続可能な開発目標(SDG'S)を掲げ、2030年までに「だれ一人とり残さない」持続可能でより良い世界にするために活動をしています。私たちロータリアンもメンバーの多様性はもちろんのことクラブの多様性などを考慮し、活動を行うことは不可欠な要素になってくると考えます。そのためには、クラブのメンバー同士がクラブの方向性を考え、定款や細則をどのように変更したらよいかを考えて頂きたいと考えています。クラブの方向性を考える手法としてのフューチャービジョン会議の開催や細則の変更の相談窓口などを通じて、地区はクラブのためにあることを念頭に置いて活動を行っていきたく考えます。その他、次年度クラブ幹事研修も当委員会にて検討してまいります。

地区公共イメージ委員会

委員長 當間 安弘 (茅ヶ崎中央 RC)

『さらなる公共イメージと認知度の向上をめざして』

Facebookライブ配信も三年目を迎えることになりました。今年度は、地区事業に加えて、地区内クラブの活動についても配信をしていきたいと思います。また、ライブ配信以外にも地区からの発信、地区内クラブの奉仕活動の報告を行ってまいります。



10月24日に開催予定の「世界ポリオデー」に向けては、ビジュアルアイデンティティの一環として、以前制作したEND POLIO NOWをプリントしたオックスフォードシャツを改めて制作いたします。この文章をお読みのころはすでに多くの地区内ロータリアンの方がオーダーをしてくれていると期待しております。

「世界ポリオデー」で、ロータリーの公共イメージと認知度を向上させるために、各種メディアとの連携を深めて参りますので、委員のみならず地区内ロータリアンのネットワークを最大限活用させていただきたいと思ひます。

今年度委員会には、新たにロータアクトクラブからも委員会に出向をいただきました。ロータアクターのスキルと若い感性を委員会活動に生かしていただけると楽しみにしております。

デジタル化推進委員会

辻 彰彦 (大和中 RC)

『世代を超えて繋がる』

SNSは、世代を超え世界中の人と繋がることのできるたいへん便利なツール。国際ロータリーでもFacebook(フェイスブック)を積極的に取り入れ、世界初となるフェイスブックをベースとしたクラブが誕生致しました。会員がどこからでもオンラインで参加でき、フェイスブック上で情報交換が行われております。



人と向き合って話し合えることほど貴重なことはありませんが、それだけに、「離れた場所でも親睦を肌身で感じられるようにする」ことが重要だと考えます。

事業活動計画としては、クラブ活性化の一助となるようデジタル化の推進を行って参ります。

1. My Rotaryアカウント登録推進及び活用の促進

・アカウント登録率アップ及び活用促進の方法を検討して実行。

2. クラブ・デジタル化の推進

・クラブ例会・イベント等のオンライン化、ハイブリッド化の推進及びサポート。

3. 地区チームの情報共有環境の構築及びサポート

・新たな情報共有ツールを導入し、各委員会とのスピーディーな情報交換に寄与する。

今年度、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、あらゆる活動に支障が生じている状況下においてロータリーライフを楽しんで頂けるように、バーチャル環境を利用して元気なクラブづくりを目指したいと考えます。一年間、よろしくお願ひいたします。

オンツー・ヒューストン国際大会委員会

委員長 佐藤 祐一郎 (津久井中央 RC)

『2022年ヒューストン国際大会で新たな地平線を発見しよう!』

2022年6月4日～8日、米国テキサス州ヒューストンにて国際大会が開催されます。ホノルル、台北と二年続けてバーチャル開催となつてしまいましたが、コロナ禍を抜け出して、2022年はいよいよ実開催となることを信じております。



ヒューストンは全米4位の人口を抱えた有数の大都市であり、NASAのジョンソン宇宙センターの存在や世界最大の医療研究機関の集積地といった側面を持つと共に、博物館や美術館が建ち並ぶミュージアム・ディストリクトなど、文化・芸術面でも高水準な都市です。

国際大会には例年数万人のロータリアンが集い、世界のロータリアンや地区内の仲間達と大きな感動を分かち合います。今回も沢山の発見と興奮が私達を待っている筈です。

2021年12月15日まで登録料の早期割引が適用されますので、皆様の仲間を募って参加しましょう。

地区会員増強維持拡大委員会

委員長 岩澤 あゆみ (茅ヶ崎 RC)

『Each One Bring One』

ロータリーがロータリーであり続けるために。どのような時代も組織も、すべては人です。ビジョンや目標に向けて、行動を起こすのもまた人。会員を増やし、組織の成長を図り、世界に奉仕する。この2年、我々はかつてない未曾有の事態を経験し、様々な活動に制約がありました。しかし、今までの在り方を考え直すチャンスになりました。仲間がいること、属する場所があり、人のために奉仕することができること。その素晴らしさをむしろ再確認した方も多いのではないのでしょうか。今年度は「Each One Bring One」と掲げております。ロータリーの魅力を伝え、よき友を増やし、より良き奉仕をするために、今いる会員を大切に、そして新たな仲間を増やしていく。クラブの発展なくしてロータリーの発展はありません。卓話や様々なセミナー等の機会の提供を通じて、クラブのために少しでもお役に立てる委員会を目指します。ロータリーの未来を作るのはお一人おひとりの力です。Grow More!



職業奉仕委員会

委員長 前沢 弘之 (津久井中央 RC)

『ロータリーの縁の下で』

もしもクラブ職業奉仕委員のあなたが、さて委員会として今年はどうんなプロジェクトを実行しよう?と言ったら、いやいや職業奉仕はそういうものではない。各自(I(7I))の心構えと実践の問題だから。じゃあ今年も「職業奉仕とは何か」皆で勉強して、そのエッセンスを掴みましょう!と言うと、いやいや、そういうことはもう…。時代は「プロジェクト」でしょう。…職業奉仕は、かくも悩ましい。

例えば青少年向け「職業に関する出前授業プロジェクト」を行い、そこでロータリアンの職業奉仕を説くというのは素敵ですね。やっぱり職業奉仕こそがロータリーの根幹だから、でも「職業奉仕は難解」だから、由来・変遷や内容の理解を地道に追い続けることが大事。これも大いにありでしょう。

この時代に、この状況下で、「職業奉仕」が私たち自身と私たちの社会に何をもたらし得るのか。地区職業奉仕委員会は、真剣に悩む皆さんをロータリーの縁の下で支え、共に模索するのが、その役目と心得ています。



地区奉仕プロジェクト委員会

委員長 端山 創之 (藤沢西 RC)

『1クラブ1奉仕プロジェクトのすすめ』

ロータリーの奉仕は一体的なもので、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、それぞれを断片的に捉えるのではなく、又一面的に考えるのではなく、包括的なものとして考えます。ロータリーの奉仕は、総合的で柔軟、且つ機能的なものとして捉え、「ロータリーの目的」の最後にある四つの項目の後段にある「等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならない」とありますように、色々な奉仕活動が重なり合って一体として考え、実践に移していくということです。奉仕は、Avenueクロスロードのようなものです。いくつかの奉仕活動が交わるところが奉仕で、立体的に機能的に考えることが大事なのです。奉仕の順序にこだわる必要もなく、一面的でもありません。クロスロードになっているところが一番の焦点であると考えることが大切で、総合的に機能的に、矮小化させないように実践に結びつけます。本年度は各クラブ1奉仕プロジェクトが地区ビジョンに則り地域や世界に大きなインパクトを与えるよう推奨し、またひいては各クラブの会員増強につながるよう各ガバナー補佐とクラブと連携を取って協力して参ります。よろしくお願い致します。



社会奉仕委員会

委員長 田中 重光 (茅ヶ崎中央 RC)

『私たちの周りの奉仕活動』

コロナウィルスの脅威が続く中でも豪雨災害をはじめとする自然災害は国内でも各地で発生します。感染が怖いからと外に出るのをためらう高齢の方々や、目に見えづらい格差の中でさみしい思いをしている子供などへ、ちょっとした手を差し出すだけで少し良い社会になるような活動を、皆さんと一緒に考え、行動につなげるようにしていきたいと思えます。

本年度も「1クラブ1奉仕」がなされるよう色々なニーズに目を向けて共有できるように努めて参りますのでよろしくお願いたします。

また、本年度はロータリー奉仕デーや世界ポリオデーといった少し大きな新たな活動も予定されていますので、お役に立てることがあればさせていただきたいと考えております。





委員長抱負

国際奉仕委員会

委員長 山口 俊明 (藤沢東 RC)

『国際奉仕丸』を出港させよう!

国際奉仕委員会の役割はクラブの国際奉仕への参加意欲を奨励し、ロータリアンとローターアクトのより大きなインパクトをもたらす国際奉仕プロジェクトの企画、立案、を援助することや支援者や助言者を紹介する事と指導されております。その役割を果たすためにクラブ国際奉仕参加推進ワーキンググループを設けます。又地区やクラブに利用可能なリソースや共同提唱者を探しているプロジェクトについて、探しているクラブに情報を提供し、グローバル補助金申請やプロジェクトの質を高めるためにプロジェクトの企画、立案、実施などサポートする、エキスパートの方々から成る『地区リゾートネットワーク』を構築するように『国際奉仕丸』を出港できよう支えていきたいと思ひます。

而して、積極的に活動を行い、明るく楽しく友情の絆が深まるような充実した国際奉仕委員会にしたいと存じます。ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



インターアクト委員会

委員長 大河原 幸夫 (相模原西 RC)

『変化と継続の両立』

コロナ禍といわれて既に18か月間、対面での活動が出来ない中オンラインでの会合や・イベント等新しい変化と可能性を生み出した良い側面を得ている一方、対面が出来ないが故の人的交流の困難さ、活動が限定する中で「達成感」を得にくい状況は実質2年半程の活動期間しかないアクト(高校生の場合)にとって得るものが少ない結果になり得ます。

今年度も当面はこの状況は継続されると思われまふ。また学校内でも部活動を制限されている影響から活動は停滞、インターアクトの絶対数も会員減少が著しい状況です。

対面での活動再開を求める声が多い中、全ての参加者の健康と安全を第一に考えながら対面活動を行う際の環境構築と周囲の理解を得られるよう努めていきたいと思ひます。

状況や時代の「変化」に対応する適応力と同時に、以前から「継続」してきたIA4大事業(IA年次大会、新世代交流会、海外研修、1泊研修)を始めとする活動を有意義に行い、若者と一緒に「楽しかった」と思える1年間にしたいと思ひております。



地区青少年奉仕委員会

委員長 岡田 英城 (横須賀 RC)

『青少年奉仕活動で成長』

地区青少年奉仕委員長として、インターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会、RYLA委員会を担当させていただきます。

私たちロータリアンは、クラブ活動の土台となる五大奉仕を通じて地域社会や海外での奉仕に力を注いでいます。青少年奉仕は五大奉仕の第五部門として位置づけられており、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、青少年交換などを通じて、青少年や若い世代の社会人がリーダーシップ能力を伸ばせるように支援をしています。2780地区内各クラブが青少年奉仕について身近に感じていただけるように活動をしていき、そして各クラブでの様々な課題などにつきましても共有させていただき、地区内全体の課題として取り組んでいきたいと思ひております。そして私たちの行動が、私たちが係わるすべての青少年のリーダーシップ能力の育成・成長にかかわり、そしてそのことで私たち自身も成長していきたいと思ひております。



ローターアクト委員会

委員長 大野 宏一 (逗子 RC)

『シン・ローターアクト委員会』

ローターアクト委員会は下記①②③に重点を置いた活動を予定しております。

①2019年規定審議会で改正されたローターアクトについての変更点、の共有

②地区内のローターアクト新クラブ設立のサポート

③地区内ローターアクトクラブ交流・活動・広報サポート

本年度地区ローターアクト委員会のメンバーは11名

- ・ローターアクト提唱クラブ代表、のメンバー
- ・ローターアクト出身のロータリアン、のメンバー
- ・現役ローターアクト、のメンバー
- ・ローターアクト新クラブ設立を目指す、メンバー
- ・ご家族がローターアクトのロータリアン、のメンバーとローターアクト関係多岐にわたるメンバー構成となりました。

毎月1回予定の委員会・新世代交流会・ローターアクト地区大会等のマイルストーンを、委員会メンバー一同で楽しく共同し、有意義な委員会活動にしたいと思ひます。



青少年交換委員会

委員長 玉木 茂 (秦野 RC)

『安全とワクチンと危機管理でスタート』

青少年交換プログラムはCOVID-19の影響で、2019-20年度は、8ヶ月で早期帰国、2020-21年度は派遣を次年度に延期され、2021-22年度は延期していた派遣を中止にするという事態になり、派遣予定の学生とその関係者の皆様には本当に申し訳ありませんでした。改めてお詫び申し上げます。



さて、RI理事会議は22年7月からCOVID-19パンデミック地区に照らしてロータリー青少年交換を実施することができることになりました。ワクチンを接種する等の条件はありますが実施の可否について検討に入ります。

交換学生の派遣は最大の安全に考慮し、ワクチン等の接種で感染に考慮し、実施の方法について検討に入ります。さらには危機管理の対応も考慮し、方針が決まりましたら早い時期にご案内できるようにしてまいります。皆様のご協力をお願いいたします。

地区ロータリー財団委員会

委員長 大谷 新一郎 (相模原南 RC)

『ロータリーは不滅』

「素晴らしい奉仕活動を行うロータリークラブは100年、200年と続けていく為に、世界の奉仕活動のリーダーとしてロータリーは不滅でなければならない。その為にロータリー財団を設立した。」



これはロータリー財団創立者のアーサー・C・クランプの言葉であり、とても熱い気持ちを表していると思います。

地区ロータリー財団は田島ガバナーの下、小委員会が1つ増え5委員会(補助金配分/VTT委員会、平和フェロー・奨学金委員会、補助金管理委員会、資金推進委員会、ポリオプラス委員会)の構成となり、総委員数89名という大所帯となります。本年度田島ガバナーの大きな柱の1つであるポリオ根絶のアクションである「世界ポリオデー」を10月24日に開催します。インドとのZoom会議等充実したポリオデーにしたいと思えます。また財団ハンドブックの改訂、地区補助金・グローバル補助金の効果的配分、平和フェローの支援等、活動は多岐に渡りますが、各委員会の方と情報を共有し、効率の良い委員会活動をしていく所存です。

委員会一丸となって「世界で良いことをしよう」に邁進します。一年間宜しくお願いします。

RYLA委員会

委員長 清水 寿人 (相模原柴胡 RC)

『安全・安心』

昨年度より十数年ぶりに再設され今年度もその責務を務めさせていただきます清水です。前回の抱負では1からのスタートだから今までの固定観念にとらわれる事が無く参加して良かったと言われるプログラムを委員会でも考えて行きたいと述べておりましたが、コロナの影響によって委員会開催もままならず勿論参加者たちの安全安心を考えセミナー計画は中止、委員会メンバーの安全安心を考え委員会も開催できませんでした。



RYLAとは「ロータリー青少年指導者育成プログラム」のことで、地域社会の次世代のリーダーがつながりアイデアを広げ行動を起こすきっかけを生み出すプログラムです。

今年度もまだまだ手探りの状態です。このプログラムに携わるすべてのロータリアン・ロータリーファミリーの皆様の安全安心を第一に考え委員会メンバーとじっくり考えて行きたいと思えます。一年間よろしくお願致します。

財団補助金委員会

委員長 田島 敏久 (相模原西 RC)

『財団補助金委員長 就任にあたって』

COVID-19禍で社会がうつ状態のむつかしい時の流れの中で、5小委員会の方々とPROMOTEしなければなりません。委員長の皆様宜しくお願い致します。会員の減少傾向の中で、田島透年度にPOLIO PLUS DAYを如何に成功させるかが、最大の課題であります。神谷一博委員長のPOWERに期待したいものです。また、地区補助金の中で、各CLUBが活発に申請され、各club支援・奉仕活動を啓蒙したいです。またglobal補助金が枯渇する中でも留学生の派遣の人数は確保したいと思います。





委員長抱負

■ 補助金配分/VTT委員会

委員長 富田 桂司 (茅ヶ崎 RC)

『クラブでの地域奉仕活動にこそ補助金活用を』

2019年頃から2780地区では地区補助金を活用した海外プロジェクトの申請が非常に多く提出されるようになりました。

残念ながら、コロナ禍での海外事業は全て延期若しくは中止を余儀なくされました。その為、今年度実施予定であった補助金予算は行き場を失うこととなりました。そこで、プロジェクト中止を余儀なくされたクラブを優先にコロナ感染対策を含めた追加募集を実施することとなりました。通常、ロータリアンの活動を伴わない物品寄贈は制約事項にあたりますが、緊急性を伴う案件については申請が可能となります。前年度までの特別措置とはなりましたが、クラブでの地域奉仕活動にこそ、補助金活用を実施して頂き、地域の皆様に賛同を頂くことで、クラブ会員増強にも役立てて頂ければと存じます。



■ 補助金管理委員会

委員長 小巻 慎吾 (秦野中 RC)

『地区補助金プロジェクトの成功をサポートします』

皆様、こんにちは、本年度補助金管理委員長を拝命いたしました小巻と申します。当委員会は、地区補助金プロジェクトの資金管理を担当する委員会であります。主な活動は、地区補助金プロジェクト完了後の資金の流れを監査することではありますが、それだけに留まらず、他の小委員会と連携して、各クラブ様の地区補助金プロジェクトの企画・立案・実施及びそのプロジェクトが成功する為のお手伝いや助言をさせて頂くことが、当委員会活動の本旨であると考えます。財団委員会の小委員会は互いに連携が取れています。各クラブ様が行われます奉仕プロジェクトが成功する為に、是非、当委員会を含めて財団委員会を積極的に活用されてみては、と思います。当委員会の一同全力で頑張ります。一年間どうぞ宜しくお願い致します。



■ 財団資金推進委員会

委員長 田後 隆二 (相模原中 RC)

『会員目線で丁寧にご説明します』

今年度もロータリー財団へのご寄付をよろしくお願いいたします。

ロータリー財団への寄付金が、どのような奉仕活動等に活用されているか、すでに多くの会員の方がご存知のことと思います。しかし、米山記念奨学会への寄付金と



どう違うのか、具体的に何にいくら使われているのか、さっぱり分からないという声もよく耳にします。

単にご寄付をお願いするだけでなく、財団寄付金ができるように活用されているかを丁寧にご説明し、快くご寄付いただけるようにするのが当委員会の使命です。

地区目標は、年次基金1人200ドル以上、ポリオプラス1人40ドル以上、ベネファクター1クラブ1名以上(恒久基金1000ドル以上)、ゼロクラブゼロの継続と例年通りです。

大口寄付やロータリーカードの推進、財団功労賞などの候補者推薦も当委員会の担当ですので、あわせてよろしくお願いいたします。

■ 平和フェロー・奨学金委員会

委員長 中山 富貴子 (茅ヶ崎 RC)

『世界平和に貢献できる人材の育成』

「人を育てるロータリー財団」の活動としてロータリアン皆様のご寄付が平和フェロー・ロータリー奨学金として活用されています。コロナウイルス感染拡大をうけ、平和フェロー・奨学生も大変な世界の状況下で経験したことのない事態を乗り越え勉学に励まれたこと誇りに思います。



平和フェローシップは国際基督教大学(ICU)に平和センターがあり近隣6地区によるホストエリア連絡協議会で支援を行っています。今年度第2780地区の20期生はコロンビアから来日予定です。

ロータリー奨学金及び第2780地区補助金奨学金は世界各国で勉学に励まれる奨学生に国際親善大使としての役割を担っていただくこと、世界理解・親善・平和に貢献できる人材、ロータリーが定める重点分野へ貢献できる人材を育成することを目的とした教育プログラムです。帰国した奨学生は財団学友会に所属します。

毎年開催される学友会主催の奨学生帰国報告会へのご出席や財団学友会をクラブ例会の卓話にお呼び頂き皆様のご寄付の意義を確認して頂ければ幸いです。ロータリアン一人一人の行動が奨学生の人生を変え、世界平和の貢献に繋がっていくと考えると素晴らしいと思いませんか。引き続き皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

ポリオプラス委員会

委員長 神谷 一博 (湯河原 RC)

『ポリオ根絶』

今年度、地区委員長としての、活動の場を与えて頂きました事、田島 透ガバナーはじめ地区の方々、各クラブの方々に感謝いたします。

ポリオ根絶はロータリーの最優先事項であるといわれております。世界にとっても重要な「ポリオ根絶」を担う地区の委員会を拝命いたしました事、身が引き締まる思いです。

今年度は、10月24日の「世界ポリオデー」に向けて地区全体で盛り上がるよう委員会活動をしながら、更に「ポリオ根絶」と「会員増強」を結びつけるような活動をしていきたいと考えます。また以下の項目につきまして「ポリオプラス委員会」一丸となって遣り甲斐のあるロータリー活動をしていきます。

- ①10/24「世界ポリオ根絶サミットin2780」「インドとLIVE会議」
- ②第2780地区発信「ポリオ根絶メールマガジン」の発刊
- ③2022/3/20-21地区大会ホストクラブ実行委員会との連携
- ④年間を通じての各クラブで行われている「ポリオプラスイベント」の連携活動、特に関連グッズ類の管理等
- ⑤「ポリオプラス」の啓蒙活動を通じてポリオ根絶のための活動に、積極的に関わって行こうと考えます。

委員会は各方面で活躍中の12名の方達で構成しております。素晴らしい委員の方たちの力を集結していきましてこの一年を遣り甲斐のある委員会にして行く所存です。皆様、一年間応援をよろしくお願いいたします。



米山奨学委員会

委員長 今井 均 (座間 RC)

『主役は奨学生』

本年度田島ガバナーの下、米山奨学委員長の高責を拝命いたしました今井 均と申します。米山委員会は3年目になります。

昨年度はコロナ禍の為、奨学生が集まる事業が大半中止に追い込まれ、奨学生に対するお世話を各クラブ・カウンセラーの方々にお任せする場面が多くなってしまった事を大変申し訳なく思っております。

本年度はワクチン接種が大きく進む中、可能な限り奨学生同士の交流や奉仕活動への参加を企画運営し、金銭面だけではなく米山奨学生になった喜びを実感して欲しいと思っています。半世紀以上に渡り2万人以上の世界の架け橋やリーダーになる学生を輩出した米山記念奨学事業に携われることに感謝し、委員会全員で主役である奨学生に全力でサポートしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



地区米山委員会

委員長 三荒 弘道 (平塚 RC)

『米山奨学生・学友生に寄り添う ～日本と母国の懸け橋へ～』

今年度地区米山委員会委員長を務めます三荒弘道と申します。

地区内各クラブ会長、幹事、カウンセラー、米山関連委員会の皆様方におかれましては、米山奨学生・学友生への日頃のお力添えを厚く御礼申し上げます。

さて、今年度の地区米山関連委員会は1つの大委員会、3つの委員会、計4委員会にて構成されます。昨年度久保田ガバナー期には、コロナ禍を乗り越え「第1回米山学友会同窓会」が開催され、地区内米山の更なる前進がはかられました。今年度は田島ガバナーの方針を受け、地区内奨学生・学友生のワクチン接種状況を鑑みたく中で、通常の米山事業は元より、学友同窓会を基軸とした学友会の拡充、更には学友会からロータリアンを輩出する試みをはかって参ります。その為には地区内各クラブ会員様の米山への寄付増進とともに、世話クラブ会長様・カウンセラー様をはじめとする地区内クラブ会員皆様方のご支援・ご協力が無ければ全てが成り立ちません。

今年度米山関連4委員会は地区内諸先輩が築かれてこられた米山のバトンを受け、米山学生が将来日本と母国の懸け橋になるべく、米山奨学生・学友生に精一杯寄り添って参ります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますことを伏してお願い申し上げます、一言のご挨拶とさせていただきます。



米山学友委員会

委員長 早川 正彦 (相模原中 RC)

『より楽しい米山学友会に向けて』

今年度、米山学友委員会の委員長をさせていただき事となりました。相模原中ロータリーの早川正彦と申します。今年度は学友委員長という大役で、とても緊張しております。

基本的に私は「学友会ファースト」です。まず、そのためには「主役は学友会」から委員会は始まると思っております。

皆様ご存知の通り、米山梅吉記念館への研修旅行・世界ポリオデー・ロータリー奉仕デー・第2回米山奨学会同窓会等イベントが多数行われます。しかしこれらのイベントは、私一人ではもちろん、委員会だけで運営することはできません。皆様のご協力があつて初めて開催する事が出来るのです。

委員の皆様や諸先輩方のご意見を伺いながら、分からない事も多くてご迷惑をお掛けする事もあるかもしれませんが、学友会の皆様が楽しく、充実した活動が送れるよう、この1年間頑張りますので、宜しくお願い致します。





米山奨学資金推進委員会

委員長 矢部 房男 (逗子 RC)

『米山記念奨学金への寄付額の増額を目指して』

米山奨学資金推進委員会は2021-22年度 田島 透ガバナーの熱意により新たに設置された地区米山委員会を支える3委員会の1つで有ります。現下のコロナウイルスによるパンデミックを意識したなかでの米山記念奨学金制度の揺るぎのない制度として継続する意思の表れと理解しております。

2021-22年度の米山奨学生は22名ですが奨学生が安心して勉学に励むためには米山記念奨学金制度の安定的な運用が図られる必要があります。

しかしながら、コロナウイルスによるパンデミックは社会経済活動の委縮を引き起こし、寄付額の減額は奨学生達の夢の実現支援を阻むため、このような時だからこそ増やしていかなばなりません。

依って、米山奨学資金推進委員会委員としては10月の米山推進月間のみならず年度を通じて米山記念奨学金の寄付額の増額を目指し、地区内ロータリークラブ会員の皆様に寄付のお願いをする次第です。



ポリオ根絶メールマガジン配信開始

ポリオプラス委員会 委員長 神谷 一博 (湯河原 RC)

第2780地区で取り組むポリオ根絶活動について情報発信をするため、メールマガジンの配信を開始しました。

本メールマガジンを通して、ポリオ根絶活動に対して関心が高まり、ポリオとポリオ根絶に関わる事実を正しく理解していただければ幸いです。

10月24日に行われる「世界ポリオデー」の情報も掲載していきます。

ポリオ根絶行動チーム、そしてその根幹であるロータリーの活動に共鳴し、一人でも多くの方が共に活動していただけることを願っています。



Dawn of Nobility — How was Rotary established? —

ロータリーの創生 Vol.1

監修 田島 透 (ふじさわ湘南 RC)

文・絵 寺田 圭次 (ふじさわ湘南 RC)

1905年2月23日、シカゴに定住した36歳の弁護士ポール・ハリス (Paul Percy Harris) はイリノイ街のレストラン、マダム・ガリの店で顧客である石炭商シルベスター・シール (Silvester Schiele) とディナーを摂っていた。

ハリスは予めから構想していた実業家クラブの結成について、シールにその詳細を明かした。その内容は、「既存の社交クラブとは一線を画した新しい形のクラブである」、「親睦と友情を最重要とし、会員同士がお互いのビジネスを向上させる」、「1業種1会員と決めて、クラブ内の競争を無くす」、「会員がビジネス上で必要なものがあつたらクラブ内の会員と取引する義務を課す」というもの。ハリスに意見を求められたシールは、この構想に賛同した。二人は店を出てその足でディアボン街127Nユニティビル711号室の鋤山技師ガスタバス・ロア (Gustavus Loehr) のオフィスに向かい、そこで待つロアと洋服生地商ハイラム・ショーレー (Hiram Shorey) の4人でクラブ設立の計画を話し合った。

ハリスは「1業種1会員で親睦を深めるクラブ」という設立趣旨を熱意を込めて説明し、その上で皆の意見をまとめ、実業家にとどまらず、法律家、医師、宗教家などあらゆる職業の会員を集めることを取り決めた。

この日の話し合いが記念すべき第1回目の会合(例会)となったわけである。

Paul P. Harris



クラブ紹介

第1グループ 横須賀ロータリークラブ

会長 八巻 敏博



新年度が始まりました。当クラブは前期コロナ禍による様々な制約を克服するため、例会へのZOOMオンライン参加、例会当日の出欠確認のQRコード化、ニコニコBOXの電子マネー化などDXを進めました。

また例会場への出席予定を前日までに確認することでフードロス削減し、SDGsへも取り組んでいます。

苦渋の選択で例会を休会にした時期もありましたが、再開後は会場・オンライン合わせてこれまで以上に高い出席率となり、多くの会員が例会ロスだったことが判明。例会が開催できる日常に感謝し一層チームワークが良くなりました。そのチームワークはクラブ、各委員会活動においてももちろん、活動が制限される中での19名の新入会員、釣り、ゴルフそして最終例会のバンドパフォーマンスで余すところなく発揮されました。

最終例会はドローンで撮影しZOOM、YouTubeで配信。コロナに負けず、それをバネにして進化し続ける横須賀ロータリー、皆様のメーキャップをお待ちしております。

(詳細は <https://yokosuka-rc.jp/>) 広報・公共イメージ委員長 中村清乃



第1グループ 横須賀北ロータリークラブ

会長 高田 源太



横須賀市北部に位置する当クラブは、東京湾に面したその地理的環境から、世界最高峰の海洋研究機関である海洋研究開発機構(JAMSTEC)や日産自動車・住友重機械工業をはじめとする企業が集う市内有力工業地帯にあります。

創立59年の歴史を有し、現在会員数は20名と少数ではありますが、会員の作詩・作曲によるクラブ歌をもつ特色あるクラブです。

奉仕活動としては、「シニアのための健康講座」を市民の方々にお声掛けをして、自衛隊病院のご協力のもと行っています。また各種募金活動なども行い、国際交流としては、友好クラブである韓国北大邱ロータリークラブと親交を通じ、共同奉仕活動を行って参りました。

また、地域との交流・親睦を深めるためのゴルフコンペの開催や、毎年7月に行われる「おっばまつり」では、地元活性化の一環として、商店街に協力し、「かき氷販売」のお手伝いをしています。

2020年はコロナウイルス感染拡大のため開催は中止となりました。



シニアのための健康講座
2019.11.12開催



おっばまつり
「かき氷販売」
2019.7.14開催



クラブ紹介
第1グループ 三浦ロータリークラブ

会長 岩野 明



三浦ロータリークラブは昨年も2名の新会員に入会していただき、今年度も引き続き会員拡大につなげられるよう努力していきます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で限られることが多々あると思いますが、できる限り夜間例会の回数も増やし、親睦を深める例会を作り上げたいと考えています。

昨年度は、同じく新型コロナウイルス感染拡大の影響で30年以上続く芋掘り例会は、施設の方々に招待せず、会員がジャガイモを掘り、各学校、施設に運びました。ジャガイモ掘りを楽しみにしていた児童、生徒、施設の方々からお礼の手紙が届き、今年こそはジャガイモ掘りを開催し、招待した皆さんの笑顔を見たいと思っています。

そして、会員家族を招いての納涼例会、クリスマス家族例会も昨年は中止となりました。

例会はなるべく対面での開催を考えておりますが、今後もどのような形になっても充実した例会を心がけていきたいと思っています。


第1グループ 横須賀西ロータリークラブ

会長 坂倉 真人



横須賀西ロータリークラブは昨年50周年を迎えました。現在会員数は14名と少人数のクラブではありますが、出席率、会員維持率の高さ、そして全員参加のクラブ運営を行っており、居心地の良さは言うまでもなく非常に団結力のあるクラブと自負しております。

会員の中にはチャーターメンバーもあり、困ったときのご意見番として大黒柱の役目をして頂いております。

又、連続31年100%出席の会員もあり、記録更新中であります。

この様に在籍が長い会員も短い会員も分け隔りなく、一人のロータリアンとして温かく接する。これが横須賀西ロータリークラブの伝統であり特徴であります。

コロナ禍の中、奉仕活動が続けていくのは大変なことでありますが、献血活動、チャリティーコンサートを始め、年5回のゴルフ、夜間例会、旅行例会と本年は親睦活動を中心に力を入れていきます。笑顔の絶えないアットホームなクラブですので横須賀にお越しの際は是非お立ち寄りください。



クラブ紹介

第1グループ 横須賀南西ロータリークラブ 会長 森 勇人



我がクラブは少人数ながら活気あふれ、会員相互の友情・団結は強く素晴らしいものがあります。過去には盲導犬育成事業や観音崎海岸清掃、地域商店街の清掃など地区資金を活用し、また近隣の高校生徒の協力を得ながら地域社会貢献に汗を流してきました。

今年度は少人数クラブとして足元を見つめ直し、会員増強を重点課題として積極的に取り組むことによりクラブの体力強化を図りたいと考えております。

全員参加の楽しいクラブ運営を行い、入会年数の若い会員に向けてロータリー知識の習得のためベテラン会員を講師とした研修会を積極的に開催し、真のロータリアンになるための知見が得られるよう努めてまいります。



第2グループ 鎌倉ロータリークラブ 会長 箱山 直樹



鎌倉ロータリークラブは現在78名の大きなクラブです。その内女性会員は13名、活発でとても魅力的な方ばかりで我がクラブをより一層華やかにしてくれています。例会場は鎌倉プリンスホテルです。毎週美しい海を見ながら美味しい食事をいただけるのは忙しい会員にとって欠かせない大切なひと時となっています。そして会員の人脈によりお呼びする多様な卓話者による貴重なお話も楽しみの一つでもあります。

当クラブはコロナ禍の中ではありますが社会奉仕事業は積極的に行なっていこうと思っています。青少年への事業や障害のある方への支援など多くの社会奉仕プログラムが予定されています。私たちは常に地域にとって欠かすことのできない中核の存在でなければと思っています。

いずれにしても楽しくて魅力的な例会運営に努めてまいりたいと考えています。皆様もぜひメーキャップにお越しくださいませ。





クラブ紹介

第2グループ 逗子ロータリークラブ

会長 服部 城太郎



逗子ロータリークラブは、本年度創立60周年を迎えます。
 海と山にかこまれた自然豊かな逗子市を舞台に、明るく、楽しく奉仕活動や親睦活動を行っております。
 60周年記念事業は、逗子の海を舞台として市内の小中学生を対象に、「知ろう、守ろう、逗子の海と生き物」と題して、海とその生き物にふれあい、自然環境を守ることの大事さを理解してもらうもの。新江ノ島水族館スタッフとともに、セミナー・磯の観察会を、また小坪漁協の協力で漁師体験を行う予定です。例年通り、ビーチバレー大会などの社会奉仕事業も予定しています。

また、国際奉仕事業として、中央アジア・キルギス共和国において障害のある子どもの家庭向け支援を計画中で、コロナ禍が収まり次第、準備活動を再開するつもりです。

逗子ロータリークラブは、老壮青バランスよくまとまることで、コロナの厳しい時代も乗り切って頑張りたいと思います。2022年5月に60周年記念式典を計画しておりますので、ぜひご支援のほどお願い致します。



第2グループ 鎌倉大船ロータリークラブ

会長 小山 和秀



鎌倉大船ロータリークラブのコンセプトと聞かれれば、皆が「遊びと文化」と答えるでしょう。一人ひとりに宿るゴルフへの奉仕の精神は、コロナ禍においても少しも揺るがず今や第二グループでは、鎌倉大船ゴルフ倶楽部と擲擲されています。月に一度は会員以外の有志も集い、4~5組のコンペゴルフを愉しみ、一年を通じて日焼けが収まる気配を見せません。そんな仲間達を初めとして、ロータリーの公共イメージ向上は毎年完璧状態です。

さて、もう一つの文化ですが、鎌倉という土地柄、毎年郷土史跡巡りを行っています。残念なことに昨年は、コロナで文化交流は出来ませんでした。今年は来年の大河ドラマが「鎌倉殿の十三人」と決定したこともあり、頼朝を支えた坂東武者達の伝承地を巡り、往時の歴史と文化を体感しようと企画中です。

新会長も若く、新しい斬新な企画を提案してくれると会員一同楽しみにしています。

クラブ会員増強という、重い重責とストレスに耐えられるよう、会員一同メンタルと体幹と軸ブレを鍛え、今年度も奥行の深い活動を行っていきます。



クラブ紹介

第2グループ 葉山ロータリークラブ

会長 戸張 雅仁



当クラブの自慢のひとつは、例会場です。

当クラブの例会場は、森戸海岸を一望できる「SCAPES THE SUITE」で、森戸海岸の風景を楽しみながら進行します。

また、上記例会場は、スペースが広くフィジカルディスタンスを保った例会運営ができる、窓が大きく窓を開け放つことでオープンエアな環境での例会運営ができるなど、感染症対策という点でも極めて優れていると自負しております。

次に当クラブの自慢は、クラブの規模がそれほど大きくないこともあり、会員の誰もが遠慮なくクラブの運営について自由に意見を述べられる土壌があることです。自由な議論が、会員各自の成長につながるという側面があると考えられます。



第2グループ 鎌倉中央ロータリークラブ

会長 橋本 はづき



当クラブは、今年36周年を迎えます。会員数22名、しかし10年以上在籍する会員は8名のみで、この数年大きな世代交代がありました。

クラブの在り方も変わり、現在は「海」、「子ども」、「海外」をビジョンに掲げ、視野を広げながら、クラブとして何ができるか日々話し合い、アンテナを張っています。

また、若い世代にも関心を持っていただきたく、SNSへの投稿に力を入れています。2021年1月には、コロナ禍で生活が困窮し、成人式のできない日系ペルー人3世・4世の女性7人のために、「かまくら成人式」を実現し、和服姿による撮影会や動画撮影を行いました。同様に、動画クリエイターの協力を得てSDGsをベースに「コロナに負けるな サステイナブルな仲間たち」と題してIMの動画を作成し、YouTube配信いたしました。

「ロータリークラブ」をより多くの人々に知っていただき、地元で仲間を増やしながら、一緒に活動していければと思っています。





2019-22年度第一地域RCの菅原裕典です。

いよいよ2021-22年度がスタートしました。各地区ガバナーの皆さん、クラブ会長はじめロータリアンの皆さん、今年もよろしくお祈りします。

昨年1年間は、ご承知の通り世界が「COVID-19」一色に染められたと言っても過言ではありませんが、様々な制約下にあっても、ロータリアンはクラブの運営と活動に最大限の取り組みをして、素晴らしい結果をもたらし、日本のロータリー100周年に相応しい年度だったと考えております。

さて、そうした中で今後更なる発展をしていくにあたっては、皆さんの地区、クラブの戦略計画は十分でしょうか？計画についてはガバナー、そしてクラブの会長が中心になり、それぞれの地区や地域に相応しい内容になっているものと拝察します。次は計画を如何に実行するかが肝要になりますが、取り組みには修正も必要です。その為には内部の方から定期的に意見を聞き、実行と同時に間断なく状況確認を行うことが大切です。また、外部の力を必要とするときには是非、我々地域コーディネーターをフルに活用してください。特に、戦略計画・会員増強についてはロータリーコーディネーター(RC)が数多くのアドバイスができるものと確信しています。とりわけ、今年度のシェカール・メータRI会長は、会員増強にとても積極的な姿勢です。我々も目標の数値を達成し、未来のロータリーに継続していきたいと強く願っています。

先日、ローターアクターの方とお話する機会がありました。私がロータクトの会員の女性と男性の比率はと尋ねたところ、おひとり

の方のクラブは5対5、もうお一人の方のクラブは6対4だとの事でした。「何故、ローターアクターは女性会員の比率が高いのですか？」とお聞きしましたら、「女性はボランティアをしたくて入会しており、男性は多くの友人を作り、交流をしたくて入会している」という返答でした。もちろん、男女共通の目的もあるでしょうし、多様性もあるかとは思いますが、この差異はある意味核心を突いているかもしれません。例えばこのような視点やヒントが身近に数多くあるにもかかわらず、そこに着目せず、結果、現状認識が不十分だという状況なのかもしれません。

また、ローターアクターの方々とは若干の距離感が存在している場合があります。ロータリークラブでも今一度視点を変えて考えなければいけないこともあるかもしれません。時代の変化で価値観も変わりますし、地域の特長もあれば、会員構成の内容も異なります。今一度、現状認識を重視し、その年度や地域に相応しい地区・クラブ運営をしていこうではありませんか。

私たちRCは、第一地域・第二地域・第三地域の各地域にRC1名・ARC3名の4名体制で地域のお手伝いをさせていただきます。是非、直接ご連絡を頂き、協力をさせていただければ幸いです。

第一地域 RC菅原裕典・ARC田中久夫・ARC福井敬悟・ARC石黒秀司
第二地域 RC水野功・ARC神野重行・ARC松坂順一・ARC関邦則
第三地域 RC滝澤功治・ARC中川基成・ARC庄司尚史・ARC安増惇夫
第一地域 ロータリーコーディネーター 菅原 裕典(仙台泉 RC)

ロータリーのロゴの正しい使用方法を学んで下さい。

皆さんはロータリーのロゴという言葉聞かれて、どのようなロゴを想像しますか？ブルーの文字でRotaryと書いて有り、隣に誇りのシンボルと呼んでいる歯車が黄色で描かれているロゴが頭に浮かんで来るでしょうか？

強固なブランドを築くには、一貫したビジュアルアイデンティティが欠かせません。これは私達がロータリーのロゴを正しく使うことによって実現されます。統一感のあるブランドを世の中の人々に示し、ロータリーとロータクトに対する人びとの認識と理解を高めるようにして下さい。ロゴの使い方の詳細は、My ROTARYにログインして、<ニュース&メディア>を選び、<ブランドリソースセンター>をご覧くださいをお勧めします。ロゴの使い方はデザイナー、印刷屋さんなどロータリアン以外の人々にも解るように、ブランドリソースセンターへのアクセスは、brandcenter.rotary.org/ja-JPから行えます。

まず、ロゴはデザインであり一つの塊として使うものであると理解して頂くようお願いします。フォント、色使い、配置なども細かく規定されています。これらの取り扱いについてはデザイナー、印刷屋さんが良くご存知です。自分達でロゴを分解して使うことは厳禁です。時々、歯車のマークを分解したり、歯車の中心に番号を入れたりして使っているのを見かけます。これらは、やってはいけないことです。7月から新年度が始まります。慣れない委員の方々がかれと思つて、歯車の中にクラブ名や地区番号などを入れて使う事が有ります。注意してチェックをお願いします。

また、RIはクラブ、地区、ゾーンがロータリー公式ロゴを単体で使用することは認めていません。この事は多くの方が忘れてます。クラブ、地区、ゾーンでロータリーのロゴを使用する場合、ロータリー公式ロゴにクラブ名または地区番号、ゾーン番号を必ず入れるようにお願いします。複数の地区やゾーンの番号を入れることもできます。公式ロゴの上または下に、クラブ名、地区番号、ゾーン番号以外の言葉を入れることはできません。クラブ用、地区用、ゾーン用のロゴは、ブランドリソースセンターにあるテンプレートを使って作成できることを覚えておくくと便利です。

協力団体、スポンサー、イベントとロゴと一緒に使いたい場合には組み合わせロゴが使用できます。組み合わせロゴを使う場合の規則もブランドリソースセンターで説明しています。

RLI(ロータリー・リーダシップ・インスティテュート)は、ロゴの中心に歯車のマークを入れていました。皆様方の中にも、RLIの全課程を履修して終了の証としてロゴパッチを贈られた方がおられると思います。RLIもRIから勧告を受けて、ロゴの中心を地球のマークに変更しています。

また、米山記念奨学会も、RIの規程に則りロゴの見直しを実施しています。

皆様方におかれても、新年度のスタートに当たり、地区やクラブで使われていたロゴの見直しをされることをお勧めします。

第一地域 ロータリー公共イメージコーディネーター

井原 實(さいたま新都心RC)

会員増強・新クラブ結成推進月間

コロナウイルスの感染が、ウイルスの変異が止まらず収束を見せない状況の中、新年度がスタートしました。

一昨年12月から1年半が経過しましたが、昨年度のガバナーはこの新常態に対応すべく果敢に新しい地区運営に尽力され、文字通りホルガー・クナーク前RI会長テーマ「ロータリーは機会の扉をひらく」を實踐してこられました。3大研修やクラブ公式訪問もリアル、オンライン、ハイブリッドなど工夫を凝らして開催されました。地区大会も中止の判断をされた地区もあり、リアルで開催できた地区は限定されました。

また、楽しみにしていた台北での国際大会も2年連続でバーチャルでの開催を余儀なくされ、地区内会員が一堂に会し、日ごろの活動を振り返り、アイデアを交換し、友情を確かめ合い、親睦を深めることも思うようにできませんでしたが、新しいアイデアのもと様々な奉仕活動やクラブ・地区運営などが実践され、今年度につながるものと期待しています。クラブにおいても同様でしたが、いち早くこの新常態に合わせたクラブ運営に切り替え、従前より活発に活動をされているクラブも数多くあります。

オンライン例会ならではの利点を活かし、卓話講師の枠を上げたり、ネットワークを活かしてクラブ、地区を超えた奉仕活動を実践されているクラブも数多く見られます。

2680地区大会はバーチャルでしたが、サプライズ演出で花火1000発を打ち上げられ、閉塞感の強い地域社会に一服の清涼

感をもたらし、NHK関西にて取り上げられ、公共イメージの向上に大きな役割を果たしました。また、2750地区ではポリオ撲滅JAZZチャリティコンサートを開催し、大きな寄付を集めることに成功し、この取り組みもNHK関東で取り上げられました。

さらに2510地区大会はバーチャルでしたが、工夫を凝らし、YouTubeにて地区大会の裏番組ともいえるべき、解説とゲストによる対談などを放映して地区内会員に対してロータリーの知識や楽しみ方などを伝えることが出来ました。困難な状況のなか、このように積極的にアイデアを出し合い前に進んでいく姿勢こそ、今最も必要とされていると思います。それには、地区においてはガバナー、クラブにおいては会長の強い思いとリーダーシップが不可欠です。地区もクラブもこの新常態に合わせ、ビジョンを持ち行動することが求められています。夢のある者、目標があり、目標のある者、行動があるという言葉がありますが、ロータリーでも同じことが言えると考えます。

クラブにおいては、会長のリーダーシップのもとクラブ会員全員参加で行動計画を作成し、実践・行動していただきたいと考えます。改めて言うまでもなく、8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。

活発な活動を通じて良い仲間を迎え入れましょう!

第二地域 ロータリーコーディネーター

水野 功(東京飛火野RC)

7つ目の重点分野「環境」

みなさんは、ロータリーの6つの重点分野に7つ目として「環境」が加えられたことをご存知でしょうか。今年度からこの分野のプロジェクトもロータリー財団のグローバル補助金申請の対象となっています。

6月号の『ロータリーの友』によると、このことが発表されたのは2020年6月でしたが、マーク・マローニー元RI会長は当時を振り返って、「ロータリアンやローターアクター、一般の人々を対象とした調査によると、「環境」が関心事のトップ5に入っていて、特にロータリーの候補者といえる一般の人々には、「環境」は第一に取り組むべきこととなっていました。」と述べていらっしゃいます。

「ロータリーのビジョン声明」を達成するための「行動計画」には4つの優先事項がありますが、そのうちの一つは「参加者の積極的なかわりを促す」となっています。会員の関心が高い「環境」が重点分野に入るとは、会員の参加意欲も沸いてくるわけで、「行動計画」の目指すところとも一致することになります。

クラブが「環境」にかかわる奉仕プロジェクトを実施することで参加者が増えれば、クラブの活性化につながります。みなさんのクラブでも、「環境」にかかわる新しい奉仕プロジェクトをスタートさせることを視野に入れてみてはいかがでしょうか。日本がプロジェクト実施国となって行えるグローバル補助金プロジェクト実施の可能性も、他の重点分野に比べて高いように思います。

重点分野に「環境」が加わることは、ロータリーの公共イメージ向上の上でも、「世界を変える行動人キャンペーン」の展開に大きなプラスとなります。

ロータリーは何をしているのですか?という問いに、ポリオ根絶や紛争の解決、教育支援に加えて、「環境」にも取り組んでいることがわかれば、ロータリーをより身近に感じ、共感を持つ人が増えるだろうと思われれます。

ロータリアンは「他者を思いやる心」を持って行動しています。その「他者」とは、たまたま隣に居合わせた人、仕事で関わる人々、自分の身近な地域社会の人々、この地球上に同じ時代に生きるすべての人々だと思っています。

しかし、地球の環境を考える時、そこには私たちの子供、孫の世代、さらには何世紀も先の未来の人々も含まれるのだと気づかされます。わたしたちが目指す持続可能なよい変化は、地球の未来に続く道となります。

第二地域 ロータリー公共イメージコーディネーター

服部 陽子(東京広尾RC)



Howto 会員増強 ～ 増強成功へのヒント ～

地区会員増強維持拡大委員会 委員長

岩澤 あゆみ (茅ヶ崎 RC)

永遠のテーマで最優先事項の一つと言われる会員増強は、より大きな変化をもたらすための欠かせない要素です。毎年、各クラブから寄せられる委員会への質問は、増強に成功しているクラブの具体的な事例が知りたいということ。増強や維持の重要性を理解しつつも、どうしたらいいのかな…というクラブが多いのが実態です。ここでは、主に増強に成功しているクラブの例をいくつか挙げてみます。

- ① クラブに会員増強・会員維持委員会を設置 ←意外と無いクラブもあるんです。
- ② クラブとしての増強目標値の設定 ←とても重要です!目標あって実現がある!
- ③ 新会員候補者カードがある。(クラブフォーラム等で配布して全員に記入してもらう)
- ④ 新会員候補者のリストがある。
- ⑤ クラブ全体で会員増強をテーマの委員会や会合を開催している。
- ⑥ 紹介カードやリストをもとに、会長や増強委員長が訪問する。
- ⑦ クラブの活動がわかる紹介用の資料やリーフレットがある。
- ⑧ 例会以外に、まずは所属会員と交流できる機会を作り、親しんでもらう。
- ⑨ 入会后、担当者(スポンサーまたは研修委員など)を決め、1年間は近い席で例会に参加をしたり、事業に共に参加をすることで、新会員のフォローをする体制がある。
- ⑩ HPやSNSを使って、活動内容を積極的に発信。
- ⑪ 職業分類を今一度精査して、ふさわしい候補者がいるだろう業界を絞り込む。
- ⑫ どのような会員に入会していただきたいか、ターゲットをはっきりと。必要に応じて、クラブの運営面で見直せることがあれば、検討をしていく。(若手を入れたい!となると、例会時間や、ハイブリッドでの出席を認めるなど)

他にもマイロータリーのラーニングセンターでは、会員増強のためのクラブの現状を評価するプログラムや様々なヒントになる資料が充実。また、カスタマイズが可能なクラブパンフレットのデータ等もご紹介します。それぞれのクラブに合った方法を見つけ出すためにも、ぜひマイロータリーもご活用ください!

GROW MORE MEMBERSHIP!

～Each One Bring One の達成に向けて～

地区会員増強維持拡大委員会 委員長

岩澤 あゆみ (茅ヶ崎 RC)

本年度、第2780地区では新会員を入会に導いてくださったスポンサーの方に、オリジナルの缶バッジをお贈りするようになりました。RIのメータ会長も、多くの会員をロータリーに導いたスポンサーをバーチャルギャラリーで紹介し、その功績を讃えていくとおっしゃっています。会員を増やすということは、ロータリーの未来を創るということでもあります。

そのロータリーの発展への貢献に対し、そして新会員が入ることで益々そのクラブが活性化され発展することを願い、バッジが完成しました。

さらに、ロータリーの認知度というものが、ある地区の調査によると20%ほどであったというデータもご紹介します。ロータリーバッジと共に、この缶バッジを胸に着けていただくことで、会話のきっかけになればと思います。

そのバッジはなに?そのマークはなんのマーク?こんな会話がきっかけに始まる会員候補者との出会いもあるかもしれません。

また、ロータリーのシンボルを常に胸に着けておくことで、既存会員のロータリアンとしての誇りも醸成されるのではないかと思います。

「Each One Bring One」。

より多くの会員で、もっと大きな夢を持つために。

みんなで増強維持に励んでいただけたらと思います。



オリジナルの缶バッジ

新会員紹介 ①所属 ②入会日 ③職業分類 ④スポンサー



いそやま みつぐ
磯山 貢
①三浦
②2021.7.1
③生命保険業
④岩野明



えんどう あみ
遠藤 亜美
①相模原かめりあ
②2021.7.1
③小学校教諭
④森嶋洋子



かもがた あゆみ
鴨頭 安由美
①相模原かめりあ
②2021.7.1
③病院コンシェルジュ
④大友泉
鎌田えり子



さとう まいこ
佐藤 麻依子
①相模原かめりあ
②2021.7.1
③飲食店経営
④森嶋洋子
大友泉



たかはま みはる
鷹濱 美春
①相模原かめりあ
②2021.7.1
③造園業
④森嶋洋子



ばん きょうこ
伴 京子
①相模原かめりあ
②2021.7.1
③飲食店経営
④鎌田えり子
森嶋洋子



もちづき ともこ
望月 朋子
①相模原かめりあ
②2021.7.1
③中学校教諭
④森嶋洋子
小原華子



わたなべ なつこ
渡邊 奈都子
①相模原かめりあ
②2021.7.1
③不動産賃貸管理業
④森嶋洋子



たがわ ゆうすけ
田川 祐介
①海老名
②2021.7.5
③都市ホテル業
④松井亮作



こんどう ちなみ
近藤 千奈美
①相模原
②2021.7.8
③産業翻訳・通訳
④松岡忠義



はやかわ まさる
早川 優
①相模原
②2021.7.8
③レジャー施設
④西山尚孝



こばやし まこと
小林 誠
①藤沢南
②2021.7.14
③税理士
④新井智代

2021-22年度 国内役員・委員のお知らせ

国際ロータリー

ポリオプラス日本担当アドボカシーアドバイザー
小沢 一彦(横須賀RC)

第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐
田中 賢三(茅ヶ崎RC)

第2地域 恒久基金/大口寄付アドバイザー
杉岡 芳樹(相模原RC)

2022年 第2地域 ヒューストン国際大会推進コーディネーター補佐
田中 賢三(茅ヶ崎RC)

公益財団法人ロータリー日本財団 理事
小沢 一彦(横須賀RC)

公益財団法人ロータリー日本財団 評議員
松宮 剛(茅ヶ崎湘南RC)

翻訳委員会 タスクフォース
脇 洋一郎(茅ヶ崎湘南RC)

翻訳委員会 タスクフォース
成田 栄二(茅ヶ崎RC)

ロータリー米山記念奨学会

名誉理事長
小沢 一彦(横須賀RC)

常務理事
相澤 光春(ふじさわ湘南RC)

評議員
山地 裕昭(足柄RC)

広報委員
田中 賢三(茅ヶ崎RC)

ロータリー文庫

運営委員長
菅原 光志(鎌倉RC)

第2780地区 2021年6月末 会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数									
			6月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減	
			男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員
1	横須賀	4	121	14	112	12	19	2	10	0	9	2
	横須賀北	3	20	4	22	4	1	0	3	0	-2	0
	三浦	3	29	1	28	1	4	0	3	0	1	0
	横須賀西	4	14	0	14	0	0	0	0	0	0	0
	横須賀南西	4	11	0	14	0	0	0	3	0	-3	0
計			195	19	190	17	24	2	19	0	5	2
2	鎌倉	5	78	13	81	13	4	0	7	0	-3	0
	逗子	4	45	4	49	4	2	1	6	1	-4	0
	鎌倉大船	3	16	0	14	0	2	0	0	0	2	0
	葉山	4	22	4	23	3	2	2	3	1	-1	1
	鎌倉中央	2	22	4	20	4	4	0	2	0	2	0
計			183	25	187	24	14	3	18	2	-4	1
3	藤沢	4	42	13	43	12	7	1	8	0	-1	1
	藤沢西	2	20	1	20	1	0	0	0	0	0	0
	藤沢北	2	0 <small>(注)</small>	0	8	2	1	1	9	2	-8	-1
	藤沢東	4	32	8	31	7	2	1	1	0	1	1
	藤沢北西	3	11	0	13	1	0	0	2	1	-2	-1
	藤沢南	4	38	7	38	7	1	0	1	0	0	0
	ふじさわ湘南	3	34	1	34	1	0	0	0	0	0	0
	かながわ湘南	3	21	13	25	14	0	0	4	1	-4	-1
	アーカス湘南	4	3	2	4	2	0	0	1	0	-1	0
	イノベーションゲートウェイ湘南	1	27	1	0	0	27	1	0	0	27	1
計			228	47	216	47	38	4	26	4	12	0
4	茅ヶ崎	4	39	5	41	5	1	0	3	0	-2	0
	寒川	3	30	1	30	1	1	0	1	0	0	0
	綾瀬	2	35	0	33	0	2	0	0	0	2	0
	茅ヶ崎湘南	4	41	1	45	1	1	0	5	0	-4	0
	茅ヶ崎中央	4	49	2	47	2	2	0	0	0	2	0
計			218	10	218	9	9	1	9	0	0	1
5A	相模原	4	68	5	69	5	6	0	7	0	-1	0
	相模原グリーン	3	52	5	54	5	0	0	2	0	-2	0
	津久井中央	3	20	4	19	4	2	0	1	0	1	0
	相模原橋本	1	59	9	57	7	5	2	3	0	2	2
	相模原ニューシティ	2	42	5	41	5	1	0	0	0	1	0
5B	相模原南	2	51	7	51	7	5	0	5	0	0	0
	相模原中	4	27	3	29	3	0	0	2	0	-2	0
	相模原西	4	45	5	51	6	1	0	7	1	-6	-1
	相模原西町大野コーポレート衛星	0	8	4	0	0	8	4	0	0	8	4
	相模原東	2	14	4	19	2	4	2	9	0	-5	2
相模原柴胡	4	26	2	27	3	0	0	1	1	-1	-1	
相模原かめりあ	2	23	23	27	27	0	0	4	4	-4	-4	
計			435	76	444	74	32	8	41	6	-9	2

グループ	クラブ名	例会数	会員数									
			6月末		年初7月1日		本年度入会者		本年度退会者		本年度増減	
			男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員	男女合計	女性会員
6	厚木	5	42	2	42	2	4	0	4	0	4	0
	大和	4	33	5	34	5	1	0	2	0	-1	0
	座間	5	30	1	26	1	5	0	1	0	4	0
	大和中	3	25	1	27	1	0	0	2	0	-2	0
	厚木中	1	24	1	24	0	3	1	3	0	0	1
	大和田園	4	31	2	31	2	0	0	0	0	0	0
	海老名	3	51	4	48	5	8	0	5	1	3	-1
	海老名樺	2	35	4	36	5	0	0	1	1	-1	-1
	厚木県央	4	38	4	38	4	0	0	0	0	0	0
	本厚木	2	35	4	38	4	0	0	3	0	-3	0
計			344	28	344	29	21	1	21	2	0	-1
7	秦野	2	49	7	49	6	2	1	2	0	0	1
	伊勢原	2	51	3	53	5	1	0	3	2	-2	-2
	秦野中	4	39	2	38	1	3	1	2	0	1	1
	伊勢原中央	2	12	0	12	0	0	0	0	0	0	0
	秦野名水	4	16	7	16	7	1	1	1	1	0	0
	伊勢原平成	4	19	0	19	0	0	0	0	0	0	0
計			186	19	187	19	7	3	8	3	-1	0
8	平塚	3	59	4	62	4	5	0	8	0	-3	0
	大磯	2	16	2	16	3	1	0	1	1	0	-1
	平塚北	3	37	6	35	5	7	1	5	0	2	1
	二宮	2	8	2	9	2	0	0	1	0	-1	0
	平塚西	3	30	1	30	1	1	0	1	0	0	0
	平塚南	2	0 <small>(注2)</small>	0	19	3	0	0	19	3	-19	-3
計			196	23	213	24	18	3	35	4	-17	-1
9	小田原	4	58	2	66	2	4	0	12	0	-8	0
	湯河原	4	24	3	24	1	3	2	3	0	0	2
	箱根	3	36	2	39	2	2	0	5	0	-3	0
	小田原北	2	30	4	36	5	0	0	6	1	-6	-1
	小田原城北	3	45	3	39	2	10	1	4	0	6	1
	小田原中	3	49	5	50	6	2	0	3	1	-1	-1
計			259	20	272	19	23	3	36	2	-13	1
総計			2244	267	2271	262	186	28	213	23	-27	5

地区内クラブ		地区内会員総数(人)
65		2,244(267)
()内は女性会員		
本年度入会者数(人)	本年度退会者数(人)	本年度会員増減数(人)
186(28)	213(23)	-27(5)

(注1) 藤沢北 RC 6月末 RI 脱会

(注2) 平塚南 RC 6月末 RI 脱会



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2780

2021~2022 Governor

Toru Tajima

■OFFICE

Aizawa Bldg.#1,5F,22-7-501
Minami-Fujisawa,Fujisawa-city,
Kanagawa 251-0055 JAPAN
Tel:+81-466-25-8855 Fax:+81-466-25-8866
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp
URL :https://rid2780.gr.jp

2021~2022 年度ガバナー

田島 透

■事務所

〒251-0055
藤沢市南藤沢 22-7-501 第一相澤ビル 5階
Tel:0466-25-8855 Fax:0466-25-8866
E-mail:g-office@rid2780.gr.jp
URL :https://rid2780.gr.jp

ガバナー月信 2021年8月1日 第2号